

看護部研修会

人工呼吸器装着患者のトータルケアについて

日時：7月30日、8月7日 13:30～14:30

場所：3階一般病棟

講師：アコマ医科工業株式会社

当院は人工呼吸器装着患者の看護にあたっています。そのため、人工呼吸器の取り扱い方についてアコマの協力を得て勉強会を2回実施しました。

実際にアコマ人工呼吸器 ART-300 を使用して下記の項目について説明がありました。

- 1) 準備・外観
- 2) システムチェック
- 3) 換気の開始
- 4) 換気の停止
- 5) 洗浄・消毒・滅菌
- 6) アラーム機能



救命・救急対応（AED）について

日時：令和8年8月27日（木）13：30～14：00

場所：木下病院 2F リハビリ室

講師：看護師 阿部真由美



BLSとは、Basic Life Supportの略称で心停止または呼吸停止に対する一次救命処置のことです。BLSについて講義があり、その後、BLSの手順に沿って実践を行いました。

介護の方は、病院で心マッサージを経験することはあまりありませんが、日常や地域で起こりうるかもしれない場合に備えて、心マッサージやAEDの使い方をトレーニングしておくといざというときに役立つと思います。

講義では、救命救急の初動行動で大切なことをステップに沿って学び、その後、実践でいかされるようにトレーニングを実施しました。

BLSの手順

BLSはアルゴリズムに従って下記の手順で行います。

- ①周囲の安全を確認
- ↓
- ②緊急通報とAEDを要請 → AEDを取りに行く
- ↓
- ③CPRを開始 → AEDで解析
 - ・胸骨圧迫
 - ・気道確保
 - ・人工呼吸
- ↓
- ④CPRの継続
 - ・CPR2分
 - ・AEDで解析
 - ・指示されれば電気ショックを繰り返す

Step①周囲の安全を確認

救助者の安全を最優先し二次災害を防ぐためにはまずは周囲の安全を確認

step②緊急通報とAEDを要請

大声で叫んで助けを呼ぶ、周囲の人に119番通報とAEDの手配を依頼する

Step③呼吸を確認

普通の呼吸が確認出来たら回復体位にして救急車を待つ

呼吸をしていない、正常な呼吸でない場合はCPR（心肺蘇生）を開始します。

Step④CPR（心肺蘇生法）を開始

胸骨圧迫から始めます。

人工呼吸が出来るようなら行いますが感染症の観点から胸骨圧迫のみでも構いません。

胸骨圧迫

胸骨圧迫は心臓マッサージといわれるもの
胸の真ん中に手の付け根を置き肘をまっすぐ伸ばし上半身の動きで少なくとも5～6cm
胸骨が沈むよう1分間に100回のテンポで圧迫を繰り返す（アンパンマンのマーチのテンポで）
胸骨部位：剣状突起より三横指上

AEDが入手できた場合 AEDで解析

AEDは一般の人でも簡単に使えるよう操作を自動化しています。

電気ショックの必要性はAEDが判断するので音声ガイダンスに従い指示されれば電気ショックを行います。
電気ショックの後にはすぐに胸骨圧迫からCPRを開始します。

AEDの使い方

- 1・電源を入れる
- 2・音声指示に従う
- 3・電極パッドを胸に貼る
- 4・ボタンを押して電気ショック

